



## 1 平成30年度診療報酬改定に向けて精神医療の議論が行われました

平成29年10月18日の中央社会保険医療協議会総会（第364回）において、精神医療の診療報酬見直しに関する議論が行われました。厚生労働省保険局医療課より示された議題と論点は、「措置入院に係る医療」「精神保健指定医の取扱い」「長期入院患者の地域移行に向けた取組」「急性期医療を担う病棟の状況」「多様な精神疾患に対する医療」の5項目でした。

### 1. 措置入院に係る医療に関する論点

措置入院の患者の退院後の継続的な支援を充実する観点から、入院早期からの退院に向けた取組や自治体等との連携の推進に資する評価について、現行の精神科措置入院診療加算等による評価を踏まえて、どのように考えるか。

### 2. 精神保健指定医の取扱いに関する論点

精神保健指定医の創設経緯や役割、指定医に求められている業務内容が入院患者に係るものが主であること等を踏まえ、通院・精神療法等における精神保健指定医の評価の見直しを検討してはどうか。

### 3. 長期入院患者の地域移行に向けた取組に関する論点

在宅時・施設入居時医学総合管理料と精神科重症患者早期集中支援管理料について、精神疾患の患者の地域移行の支援を充実する観点から、それぞれの点数設定の目的等を整理した上で、評価のあり方を見直してはどうか。

### 4. 急性期医療を担う病棟の状況に関する論点

精神科の急性期病棟において、必要最小限の行動制限が求められていることを踏まえ、患者の状態に応じた適切な医療が提供できる体制が確保できるよう、評価のあり方について、どのように考えるか。

### 5. 多様な精神疾患に対する医療に関する論点

向精神薬などの取扱いの見直しや、薬剤師・薬局等と連携した適切な薬物療法の推進に資する評価の検討。認定症専門診断管理料の評価の見直し。発達障害の患者に対する専門治療プログラム等に対する評価の検討。認知療法。認知行動療法の専任の看護師に係る要件の見直し。公認心理師に関する、臨床心理技術者等の配置を要件にしている診療報酬について、どのように考えるか。

中央社会保険医療協議会総会で議論された詳しい議題内容と論点については、日精看ホームページ「看護管理者の部屋」に掲載している「中央社会保険医療協議会総会（第364回）議事次第」（中医協HPリンク）からご覧ください。

## 2 平成30年度診療報酬改定説明会を開催します！

診療報酬改定説明会(全国5か所)の開催場所が決定しました。参加申込は、平成30年1月9日(火)より受付を開始します。日精看ホームページ「研修会のご案内」からも、お申し込みできます。

- ① 3月17日(土) 東京(定員280名) フクラシア品川クリスタルスクエア
- ② 3月21日(水・祝) 福岡(定員200名) アクロス福岡
- ③ 3月31日(土) 岡山(定員150名) サン・ピーチOKAYAMA
- ④ 4月7日(土) 仙台(定員150名) TKPガーデンシティ仙台
- ⑤ 4月8日(日) 京都(定員100名) 日精看 京都研修センター

- 本ニュースは、配信を希望された日精看会員の方にメールかFAXでお送りしています
- 本ニュースのPDFは日精看ホームページ「看護管理者の部屋」でダウンロードできます
- 配信の中止、配信先の変更は、日精看事務局までお知らせください
- 日精看事務局 〒108-0075 東京都港区港南2-12-33 品川キャナルビル7F tel 03-5796-7033 fax 03-5796-7034